



ふくおか 3 Rメンバーズ設立記念式典

ブリヂストンにおけるCSR/環境経営と産廃リサイクルの課題

ブリヂストン九州生産本部

Jan 17, 2020

BRIDGESTONE
あなたと、つぎの景色へ

くらしの中に広がる ブリヂストン

毎日のくらしの中で、ブリヂストンの製品は大活躍しているんだよ！
知っているものは、いくつあるかな？ さあ、街の中を探してみよう！

防舷材



船が岸に着く時に、衝撃をやわらげて船に傷がつくのを防ぐ

太陽電池用フィルム



太陽電池の小さな部品をガラスに固定して保護するフィルム

自転車



日常生活で使う自転車のほか、折りたたみスポーツ用自転車、電動アシスト自転車など

コンベヤベルト



採掘現場から鉱石を運ぶために使用するゴム製ベルト

ウレタンフォーム



マットレスやクッション、台所スポンジなどの生活用品や車両、OA施設の部品など、産業のあらゆる場面に使われるウレタンフォームをはじめとした製品

ゴムクローラ

建設・産業機械の足の部分に使われ、地面や土壌にやさしく、乗り心地を良くする

ユニットバス

強化プラスチックを使用したユニットバスなど、様々なスループ

樹脂配管システム

事務機器用部品

ホース

工事に使われる建設機械や、工場内の機械を動かすための力を伝えるホース

飛行機用タイヤ

飛行機の重さとスピードを支えるタイヤ

タイヤ

乗用車、二輪車、トラック・バス、建設・掘削車両、農業機械など、さまざまな乗り物のタイヤ

スポーツ用品

ゴルフボールやクラブなどのゴルフ用品、ラケットやボールなどのテニス用品

免震ゴム

地震の揺れを吸収して、建物に伝わりにくくする

シートパッド

自動車用シートに使われるクッション材

空気バネ

鉄道車両やトラックなどの重さを支えながら、揺れが伝わるのを防いだり、高さを調整したりする

防振ゴム

ブリヂストンでは、タイヤを始めとする様々な商品を展開しております

2

3

環境宣言

未来のすべての子どもたちが
「安心」して暮らしていくために…

ブリヂストンは、お客様やビジネスパートナー、そして社会とひとつになって、
「持続可能な」社会の実現を目指し、誠実に取り組みます。

そのために、次の3つの活動を行います。

自然と共生する

生産地の保全や研究、教育活動を通じて、
生物多様性の保全に貢献します。

資源を大切に使う

商品やモノづくり全体を通して、資源生産性の
向上や水資源の有効活用を継続していきます。

CO₂を減らす

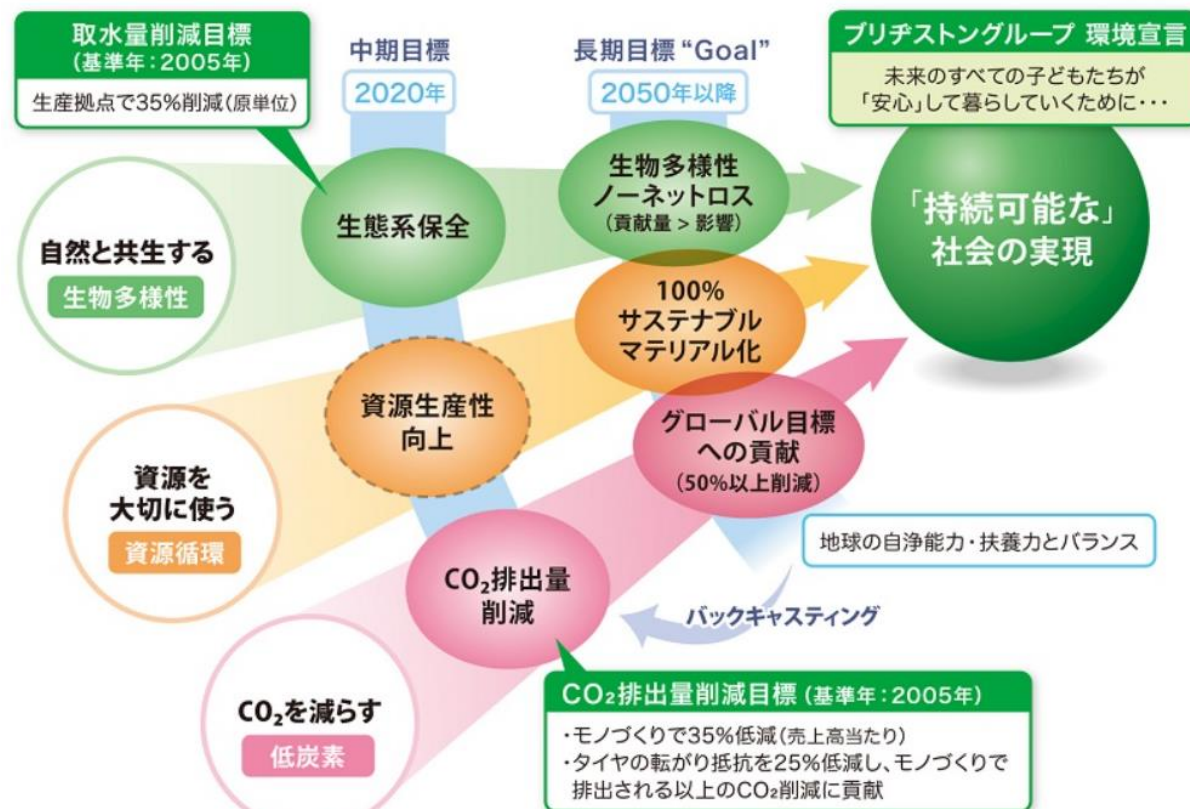
製品のライフサイクル全体を通して、
低炭素社会の実現に貢献していきます。

ブリヂストンは事業活動の
全ての領域で環境活動に
取り組んでいます。

商品・サービス
モノづくり 環境 コミュニケーション 社会貢献
TEAMS

One Team, One Planet.
地球のために、ひとつになる。

BRIDGESTONE



グローバルに事業を展開するリーディングカンパニーとして
2050年の世界を見据え、モビリティ社会の持続的成長へ貢
献すると共に、企業として成長しながら資源循環、地球環境
のゴールとして環境長期目標を設定

九州生産本部におけるCSR環境の取組（防災・環境ビジョン）

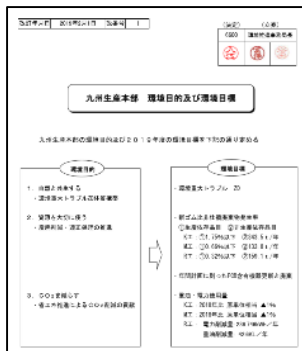


九州生産本部として具体的なビジョン、取組へ落とし込み活動を推進

久留米工場における産廃削減の取組



産廃発生量の削減



環境ISOを推進し、継続的に削減活動

コミュニケーション



西日本の工場担当者が集まり削減策を議論

サーマルリサイクル



甘木工場で廃タイヤの焼却熱を再利用

マテリアルリサイクル



利用可能な材料はリサイクル(廃油、薬品等)

様々な産廃削減に取り組んできたが、よりマテリアルリサイクルを加速したい



廃棄タイヤ
(試作等、工場で発生)

廃タイヤ



加硫の際にモールド型枠
に内圧を張る素材
(塩素含有)

ブラダー



未加硫のゴム(粘着性)
一般的な破碎機・切断
機への投入不可
シート状、塊状等様々

生タイヤ、生ゴム



未加硫ゴムが張り付けられ
ている。中はスチール線や
繊維
分離できれば資源となる

ゴム付コード、スチール

久留米工場の産業廃棄物



廃油

カーボン、溶けたゴムを含有。粘度が極めて高い



フレコンバッグ

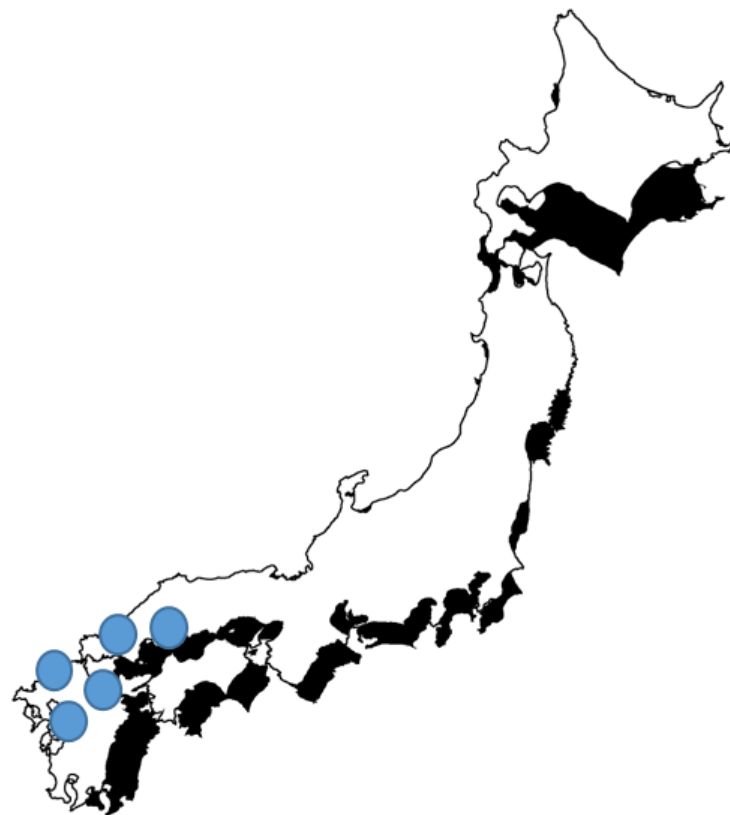
硫黄など、各種の薬品が付着



掃集くず

薬品カーボンのくず。粉体で飛散性あり

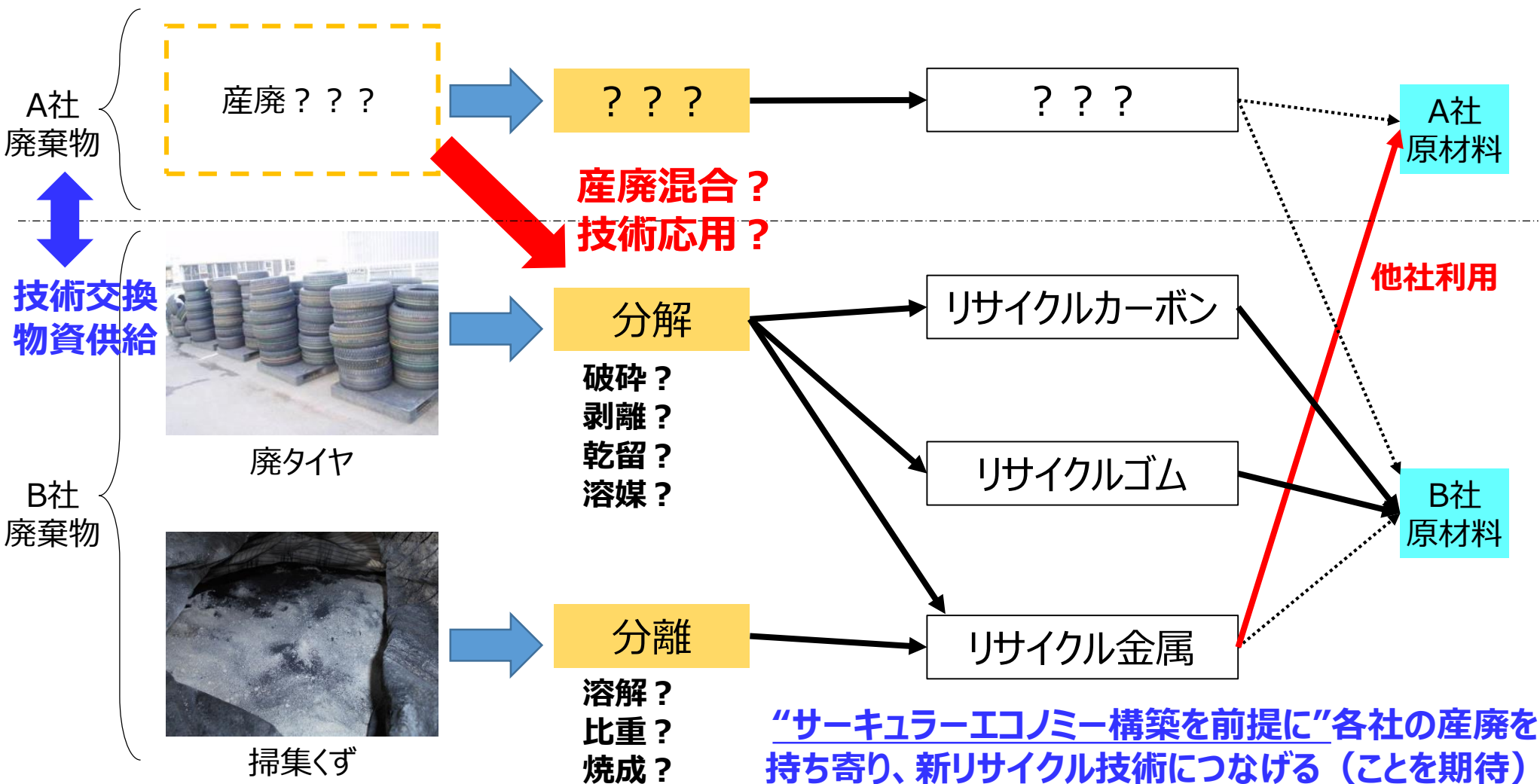
Zn、Ca等を多く含有



(西日本タイヤ6工場)

産廃発生量：約20,000 t /年

期待するリサイクル技術進展のイメージ



メンバーズ各社の技術を結集し、イノベティブなリサイクル技術を開発

サーキュラーエコノミーに向けて今すべきこと



・リサイクル技術シーズの高度化&マッチング強化（ビジネス採算化）

⇒(まずできること)近隣企業の困っている情報のデータ化

⇒ソリューション技術開発

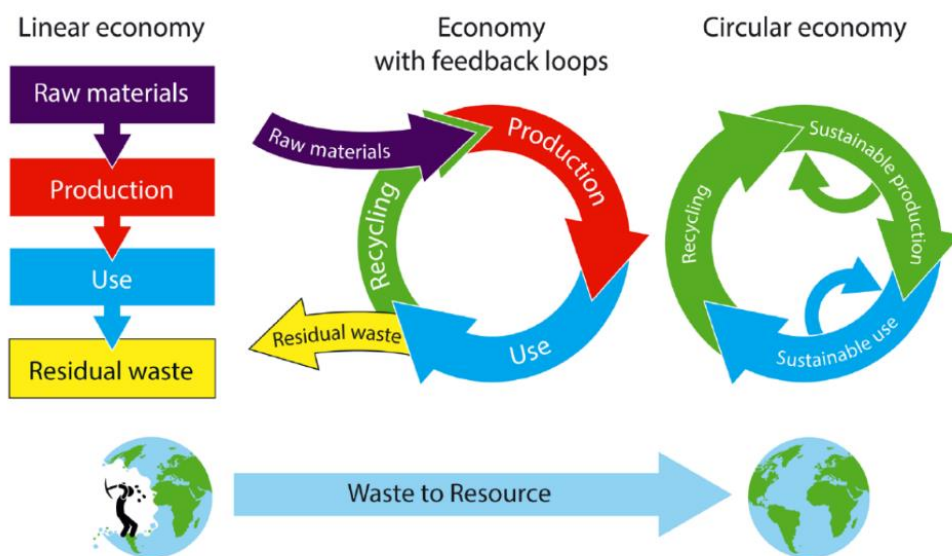
⇒域内循環の拡大（物量/規模の確保）

⇒新リサイクル市場の構築（複数業界JVによる大型リサイクル施設）

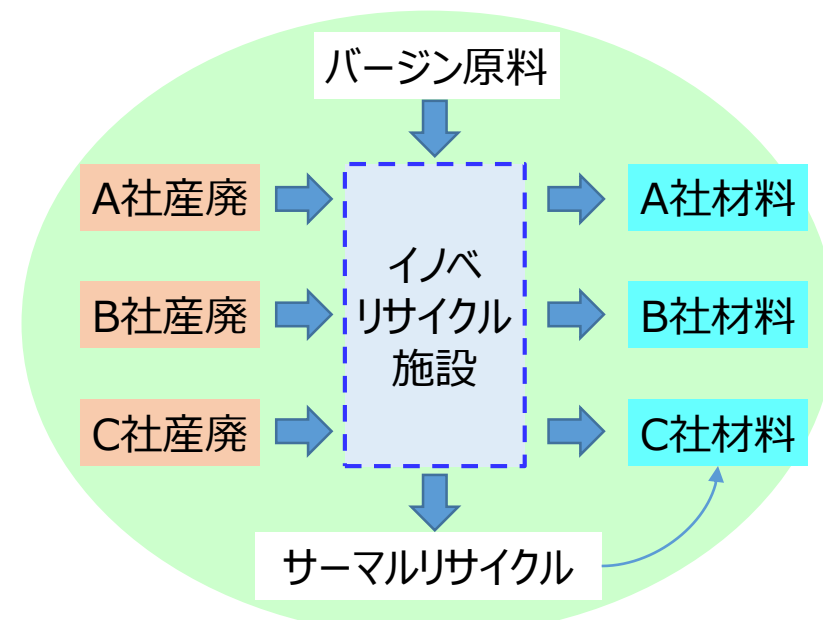
・広域産廃リサイクルの新制度設計（既存規制の緩和/撤廃、税投入）

⇒産廃業界の再編（静脈産業独立→動脈/静脈産業一体化）

3Rメンバーズで
まずできること



出典：オランダ：Waste to Resource programme (2014)



業界を超え、廃棄物の全資源化へ



あなたと、つぎの景色へ